

2008年「ブロック内共同宣教司牧短期計画の評価」

三重中勢ブロック

1. 将来を担う子ども、青年たちへの対応

ブロック活動として県内にあるサレジオ会の関係者の支援を受け交流会を行ったりやサマーキャンプ、釜ヶ崎の体験学習会、教区のリーダー研修へ参加など積極的な活動が展開される。

2. 滞日外国人とのかかわり

滞日外国人が多い地区では、分かち合い、課題の共有化等で年間を通して活動する。また本年は、特に三重国際ファミリーデーでの一体的な活動が大きかったと思う。

3. 宣教への取り組み

ホームページの発信、聖書講座での勉強会、分かち合いなど具体的な活動は行われているものの世の流れとはいえ年々司祭、信徒の減少があり、全体的な取り組みは弱いのではないかとこの考え方もある。

4. 信仰を深める生涯努力

列福式への参加、聖書講座への参加、子どもによる殉教者の紙芝居の上演など実施されるが基本的には地道な努力を継続することにある。

5. 支え合う共同体づくり

外部的には昨今の世界経済不況による弱者への支援、内部的には小教区での部会代表者の意見交換、趣味の会を通しての交流などでよりよい共同体作りを目指していく。